



ようこそ鳥羽へ

今年で24回目となる姉妹都市・米国カリフォルニア州サンタバーバラ市との中学生交換留学が行われ、8月13日～21日の間サンタバーバラ市から学生4人が鳥羽市の中学生宅にホームステイし、その歓迎会が8月16日に鳥羽国際ホテルで開催されました。

会場では、両市の学生のスピーチが披露され、サンタバーバラ市の学生のスピーチを鳥羽市の中学生が通訳しました。また、恒例となっている鳥羽物語をみんなで踊り交流を深めました。



世界レスリング選手権大会出場

米国・ラスベガスで9月7日から始まる世界レスリング選手権大会に出場を決めた鳥羽市出身の石田智嗣さん（警視庁）が家族とともに市長室を訪問し、大会出場を報告するとともに、木田市長から激励を受けました。

石田さんは、「5位以内に入ってオリンピック出場枠を獲得するとともに、メダルを獲得して、自分が来年のオリンピック出場権を取ることを一番の目標にがんばりたい」と力強く語ってくれました。



新しいすべり台で遊べるよ

子育て支援センターあそびの広場「だっこ」では、子どもたちが使うすべり台など新しい遊具を設置しました。この遊具は、今年3月に鳥羽仏教団から寒行托鉢で集まったお布施の20万円を「市のために使ってほしい」と寄付していただき、購入したものです。

だっこでは、まだハイハイをはじめたばかりの子どもから歩けるようになった子どもまで、すべり台を滑ったり、ソファに腰掛け絵本を読んだりして、みんなで楽しく遊んでいます。



鳥羽磯部漁協答志支所青壮年部が「海洋立国推進功労者表彰」を受賞

鳥羽磯部漁協答志支所青壮年部のみなさんが7月23日に市長室を訪問し、総理官邸で7月16日に行われた「第8回海洋立国推進功労者表彰」の受賞を木田市長に報告しました。

長年の藻場再生への取り組みが認められての受賞に、答志支所青壮年部部長の勢力吉郎さんは「自分たちが子どもの時のような豊かな海を取り戻し、子どもの代に残していってあげたい」と活動への思いを語ってくれました。